



理念

何か世の為 人の為

青雲だより

2010
12月号
vol.43



2階 透析室前

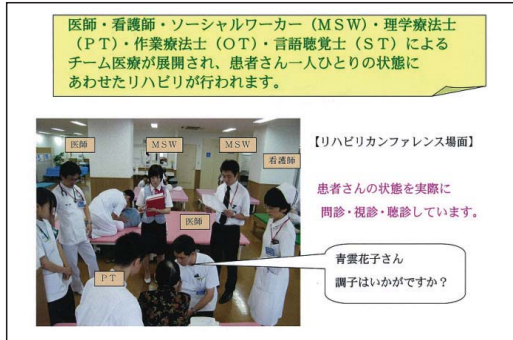
(画：H.Kawaida)

安全管理情報

医療安全管理対策室 小鯛 ゆかり

今年度リスクマネジメント委員会では、当院にお越しになる全ての方が、安心して治療・検査を受けていただけるように、各所属のリスクマネージャーが、安全管理の取り組みについて毎月行っております。また、感染対策委員会（ICT）では、3カ月に1回、季節における感染の情報提供、患者さん・御家族の日常生活における感染予防策の広報誌を作成し院内に掲示しています。

「青雲会病院に行けば大丈夫」と多くの皆様方に当院を選んで頂けるよう、更に安全管理・感染管理に努めていきます。



安全管理の取り組みについての広報誌

インフルエンザを予防するには…

●日常生活での予防方法

体調を整え、ウイルスに接触しないことが大切です。また、インフルエンザウイルスは湿度に非常に弱いので、室内を加湿器などを使って適切な湿度に保つことが有効です。

① 栄養と休養を十分取る

体力をつけ、抵抗力を高めることで感染しにくくなります。

② 人ごみを避ける

病原体であるウイルスを寄せ付けないようにしましょう。

③ 適度な温度、湿度を保つ

ウイルスは低温、低湿を好み、乾燥しているとウイルスが長時間空気中を漂っています。加湿器などで室内の適度な湿度を保ちましょう。

感染対策委員会発行の広報誌

クラブ活動の紹介

バレーボール部

11月14日（日）に第58回KHPバレーボール大会が、蒲生町の大楠アリーナで開催されました。鹿児島県内の医療施設から24チームの参加があり、その中で3位に受賞する事が出来ました。毎週の練習の成果、またチームワークの良さを十分に発揮し、この結果につなげることが出来たと思います。今後も優勝目指して頑張りますので、応援よろしくお願いします。



ソフトボール部

秋季ナイター大会が9/10(金)～10/23(土)まで、船津公園にて開催されました。13チームの参加があり、昨年の春季ナイター大会につづき、決勝に進出しましたが、惜しくも準優勝でした。激戦の中、予選からチーム一丸となって頑張りましたが、もう一步とどきませんでした。来シーズンは、優勝を目指して頑張ります。



11/20（土）には、青雲会病院の職員だけの紅白戦を開催しました。各部署から参加を頂き和気藹々と楽しくプレーをする事ができました。参加者より定期的に計画して下さいとの要望もありました。来年は、春、夏、秋と定期的に計画したいと思いますので、多くの参加をお待ちしています。

患者さんの声に対しての取り組みについて

私達は常に、患者さんやご家族の方々が安心して治療を受けられるように、医療安全に注意しています。また心のこもった接遇を実践するように努めております。

患者さんより「外来の処置室が解りづらい」という意見が多数ございました。その声を受けて、院内に処置室の場所を示した掲示物を掲載しました。また「外来診察の際、基本票の提出場所が解りづらい」という意見に対しては、外来の基本票入れをピンク色に変更し、院内にも解りやすく掲示致しました。

入院患者さんからは、「夜ナースコールを鳴らした時の対応が遅い」というご指摘も受けました。極力すぐに対応するように取り組んではおりますが、夜間帯は看護師も少ない為、すぐに対応できない場合もございます。その場合は「約〇分後に伺います」と所要時間をお伝えするように致しました。

今後も皆様に満足して頂けるよう、患者サービス委員会を中心に改善策を話し合い、より良い看護ができるよう日々取り組んで参ります。また、これまでにたくさんのお礼のお言葉も頂戴し、職員の励みとなっております。



管理部長 麓 勝彦

今年も押し迫ってきました。皆さまお忙しくお過ごしのことと存じます。12月を迎えると、今年はどんな事が有ったのだろうと考え「手帳」を見ながら一年を振り返ります。

私の手帳には、最初のページに私が指針としている和歌二首と、師と仰いだ先輩から学び得た中で心に残った、格言・名言・教えが書いてあります。薩摩武士の根底に流れる規範、薩摩藩郷中教育の基本書となる日清公の「島津いろは歌」で「こ」と「い」の行の二首です。

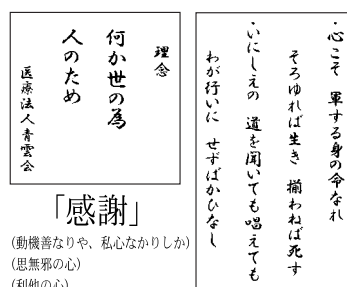
- ・心こそ 軍(いくさ)する身の命なれ そろえれば生き 揃わねば死す
→みんなの心が一つになれば成功し、バラバラならば失敗します。意思統一が大事。
- ・いにしへの 道を聞いても唱えても わが行いに せずばかひなし
→率先垂範・実行。背中教える。

自分への戒めです。また、仕事を通じ沢山の方々に教えを乞う事ができました。その教わった4つの事を日々の導きとしています。

- 「動機善なりや、私心なかりしか」 「利他の心」 (りたのこころ)
- 「思無邪」 (思いよこしまなし) 「感謝の心」

最後の「感謝の心」とは、人・物・環境、全ての物を生かす、全ての物に感謝をする。その心を自分で育む努力を常にする事です。思い悩んだ時は、この手帳を見据えながら己を振り返り、気持ちを奮い立たせます。昨年より青雲会の理念「何か世の為 人の為」がトップに追加されました。この理念は、利他の心、思無邪であります。川井田病院開設時に救急医療を行い、人の役に立つこと、人の役に立ちたいと思う気持ちで、「何か世の為 人の為」を掲げられたと伺いました。現在も職員一人ひとりがこの理念を理解し、人の役に立つことが多ければ多いほど良い、という姿勢で取り組んでいます。この崇高な考えと思いの込められた理念、それに取り組む職員の姿勢には、地域の救急医療を担う自信と誇りを感じます。職員の取り組みは、地域の皆様や患者さんも、必ずや嘆息して下さると信じています。

青雲会に入職して間もなく二年が参ります。来年も、初心に返り、人の役に立つこと、人の役に立ちたいと思う気持ちで日々業務に取り組みたいです。このような理念の基で仕事出来る事に感謝いたします。 感謝



「感謝」

(動機善なりや、私心なかりしか)
(思無邪の心)
(利他の心)

青雲荘コーナー お寿司バイキング

青雲荘入所部では、11月の行事として寿司バイキングを開催しました。なぜ、お寿司かというと、利用者の方にアンケートをとったところ、「生魚を食べたい」という意見が一番多く、また、昨年の寿司バイキングも好評であったからです。レクリエーション委員会と、栄養科の協力で、美味しいちらし寿司が完成しました。今回は職員も同席し、一緒に同じお寿司をいただきました。利用者の方と職員間の距離がさらに近くなった気がします。同じテーブルを囲み、同じ時間を共有することの大切さに気づき、今後は家族ともそういう時間を過ごすことの出来る機会を提供していきたいと感じました。利用者の方も「おいしい、おいしい」と、いつもよりたくさんの食事を召し上がり、幸せな笑顔をされていました。



新鮮な魚が到着



好きなだけ魚をのせていいですよ～！



どれどれ、おいしいかな？早く食べたいな～

外来診療体制一覧表

2010年 12月現在

午 前	月	火	水	木	金	土
外 科	平 田	貴 島	平 田	貴 島	平 田	平田/貴島/有馬(剛) 【交替制】
	有馬(剛)	有馬(剛)	貴 島	有馬(剛)	有馬(剛)	
			前 田			
脳 神 経 外 科	島 内	島 内	島 内	島 内	島 内	
内 科・呼吸器科	川井田	川井田		川井田	川井田	高 塚 【第1、2、4、5診療】
循 環 器 科	福 留	福 留	福 留	福 留	福 留	福 留 【第3診療】
消 化 器 内 科 (内 視 鏡 室)	松 原	松 原	松 原	松 原	松 原	松 原 【第3診療】
	高 塚	野 口	野 口	高 塚	高 塚	野 口 【第1、2、4、5診療】
眼 科	有 村	有 村	有 村		有 村	有 村 【第1、3診療】
泌 尿 器 科	有馬(純)	山 川	有馬(純)	山 川	有馬(純)	有馬(純)/山川 【交替制】
人 工 透 析	山 川	有馬(純)	山 川	有馬(純)	山 川	
整 形 外 科		坂 梨			安 松	
歯 科 口 腔 外 科	守 山	守 山	守 山	守 山	守 山	守 山 【第3診療】
午 後	月	火	水	木	金	土
外 科	平田/貴島/有馬(剛) 【交替制】	平田/貴島/有馬(剛) 【交替制】	平田/貴島/有馬(剛) 【交替制】	平田/貴島/有馬(剛) 【交替制】	平田/貴島/有馬(剛) 【交替制】	
			前 田			
循 環 器 科	福 留		田 原	福 留	福 留	
消 化 器 内 科 (内 視 鏡 室)	松 原	松 原	松 原 【第3水曜日のみ休診】	松 原	松 原	
		野 口	野 口			
眼 科	(手術)	有 村	有 村		有 村	
泌 尿 器 科	山 川	有馬(純)	山 川	有馬(純)	有馬(純)/山川 【交替制】	
人 工 透 析	有馬(純)	山 川	有馬(純)	山 川		
整 形 外 科	坂 梨 15:00より	坂 梨			安 松	
歯 科 口 腔 外 科	守 山	守 山	守 山	守 山 【第1、2、4、5診療】	守 山	

診 療 日：月曜日～土曜日（土曜日は午前中） ※日曜日・祝祭日は休診

12月29日(水)午後から1月3日(月)まで休診となります。

受付時間：8：30～12：00 14：00～17：30 ※ただし、急患については常時対応いたします。

脳神経外科は午前中の中のみの診療となります。

循環器科・歯科口腔外科は予約制となります。眼科は一部予約制となります。

眼科休診日：12/16・23・25 ※日曜日・祝祭日は休診

基 本 方 針

- 「何か世の為 人の為」の理念のもとにさらに救急医療を続ける
- 「最期は青雲会病院で」と言われる病院作りを目指す

青雲だより 第43号

発行者：医療法人 青雲会 青雲会病院
広報委員会

〒899-5431 始良市西餅田3011

T E L：0995-66-3080

F A X：0995-66-3057

ホームページ：http://www.minc.ne.jp/seiun/

E-Mail：hospseiun@po.minc.ne.jp

ご意見などございましたら、お気軽にご連絡ください